

KDA 55th ANNIVERSARY

創立55周年記念

かやの木芸術舞踊団

第29回舞踊公演

DANCE '25

'25.7.20(日) 土岐市文化プラザ

公演① 10:30～ 公演② 15:30～

★チケット 全自由席 4,000円(当日 4,500円) 好評発売中!

◎舞踊団作品『ノートルダムの鐘』『響』

◎全国舞踊コンクール 上位入賞作品(群舞部・児童舞踊・幼児部)

◎こうべ全国洋舞コンクール第3位入賞作品(ジュニア1部・3部)

【お問い合わせ】
かやの木芸術舞踊団公演事務局
☎ 0120-678-899
〒508-0045 中津川市かやの木町 4-17

ホームページ Instagram

チケットぴあ Pコード: 534458



「野ばら」とか「さくら横丁」とか、クラシックにも日本歌曲にも、一つの歌詞に複数の曲が存在する「同詩異曲」がある。

7月6日(午後2時) 港文化小劇場で催される本田美香(ソプラノ) & 野村愛(ピアノ)「ドイツ

本田美香・野村愛が「同詩異曲」のドイツ歌曲を披露

7月6日 港文化小劇場で「女の愛」「女の愛と生涯」

歌曲コンサートは、シャミッソーの詩に、シューマンが作曲した「女の愛と生涯」と、レーヴェが作曲した「女の愛」を披露する。

この2曲、タイトルは異なるが、同じ歌詞に曲付けされた同詩異曲。女性の半生を描いた組曲である。よく演奏されるのはシューマンのものだが、「レーヴェの素直なメロディーも魅力的。ぜひ聴き比べてほしい」と



全自由席 3,000円、25歳以下1,000円。港文化小劇場は地下鉄「港区役所」駅から徒歩3分。TEL 052(733)8809。

↑野村 愛(ピアノ) →本田 美香(ソプラノ)

愛知から全国、海外へ新作を発信

愛知県芸術劇場に5人の専属ダンサー・ティスト

愛知県芸術劇場(以下、県芸)では、酒井はな、島地保武、三東瑠璃、岡田玲奈、黒田勇の5人の舞踊家を劇場ダンサー・ティストとして起用。芸術監督の唐津絵理は「県芸をダンスの創造拠点にし、優れた作品を県外、海外に発信。併せて愛知のダンスシーンを大きく飛躍させたい」と、新たなプロジェクトをスタートさせた。



酒井はな、その奥が島地保武

の力オとしてダンスの楽しさをアピールした。来場者には現代舞踊の野々村明子や志学館大学のダンス部員らダンス経験者も多く、思わぬコラボレーションも実現した。ダンスアーティストは今後、唐津とともに芸文で新作の創作に着手。その過程を公開することもに、ワークショッパやセミナーなど、様々な形で愛知のダンス愛好家と交流を深める予定だ。

舞台批評

名フィル定期演奏会

ピアノスト角野隼斗の圧巻のテクニクと渾身の熱演に、激しく魂を揺さぶられた。名フィル定演で演奏されたグルダ作曲「コンチェルト・フォー・マイセルフ」(4月11日・愛知県芸術劇場コンサートホール)である。

フリードリヒ・グルダ(1930～2000年)はモーツァルトやベートーヴェンを得意とするピアノストで作曲家。クラシックと同等、あるいはそれ以上にジャズを愛したミュージシャンである。驚いたのはエレキベス(マーティ・ホロベッ

圧巻!角野隼斗の「クラジャズ」



「コンチェルト・フォー・マイセルフ」

生き生きと歴史上の人物を描出



「散りぬべき～花も花なれ人も人なれ」

ク)が正面(通常指揮者の立つ位置)に、その上手側にドラムス(右若駿)下手側にピアノ(角野)がレイアウトされていたこと。ピアノは当然だが、リズムセクションが最前面に位置するのは異例だ。

「マイセルフ」(全4楽章、1987年初演)は多彩な表情を持つ曲で、行進曲のようでもあり、韓国ドラマの挿入曲のようでもあり、現代音楽のようでもあった。しかし一貫して曲を支配していたのは角野のアク

ティヴな演奏で、大半がアドリブだった。演奏が終わると多くの観客がスタンディングオベーションで熱演を称えた。私自身、これは感動したのは数十年ぶりの曲ばかりは、さすがの

強さと哀しさを併せ持った森の音楽は、時代と人情を的確に描出し、作品の風格をアップさせた。神父役・鈴木健司の美声、献身的にガラシャを支え続けた侍女頭・加川文子の繊細な演技と名唱も印象深い。

名古屋市在住の声楽家・安賜勳が構成、演出する第2回「Solists Ensemble Nagoya」(4月13日・芸術創造センター)を観賞した。13人(テノール

Solists Ensemble



安賜勳 突出した構力と演出力

7人、バリトン3人、バス3人)の地元男性声楽家と、紅一点の金澤澄華(ソプラノ)が出演。アリア、歌曲、ポップスなど19曲を披露した。

オープニングは「カルミナ・プラーナ」のおね運命の女神よ。男性ソリスト13人による合唱の迫力は凄まじく、一気に聴衆を魅了した。安はほかにも男性4人のコーラスグループ「アルテアルト」を主宰するなど、名古屋地区声楽家のリーダーとして奮闘している。

演出面でも客演に金澤を加えたことで、男性陣と金澤が互いに引き立て合い、プログラムにも起伏が生まれた。これも安のファインプレーである。ただ、ところどころにバラツキが生じたのは

愛知智絵 ミニオペラで魅力全開

残念。安によれば「全員が揃ったのは公演前日のみ(苦笑)」。楽曲のアレンジにも物足りなさを覚えた。

音楽家には楽譜という

「伯爵夫人とタマ」

「オペラを楽しく気軽に」をコンセプトに多彩な活動をする声楽家の愛知智絵(東京二期会)が、名古屋出身の作曲家・広瀬正憲のミニオペラ「伯爵夫人とタマ」を上演した(4月26日・HITOMIホール)。



愛知 智絵

「伯爵夫人とタマ」は広瀬がシリーズものとして作曲と脚本を手掛け、すでに第3部話まで出来上がっている。ミスアリアスな和音、旋律が特長。この日は広瀬のピアノのみで上演されたが、次の機会には室内楽の演奏で聴きたいものだ。

(シゲル)

名フィルも、人気指揮者の川瀬賢太郎も、脇役に甘んじるしかなかった。

演奏家ソサエティー

圧巻の名唱と名演技。21人の出演者それぞれが、血の通った人物像を生きたきと描き上げた。名古屋演奏家ソサエティーの創作音楽劇「散りぬべき～花も花なれ人も人なれ」(4月26、27日・名古屋能楽堂)である。

脚本、演出は右来左住、作曲は森彩音、指揮は中村友哉。登場人物すべてがダブルキャストで4公演を行った。私が観劇したのは主人公の細川ガラシャを出田光代、夫・忠興を安田健が演じた二日目の百合組。

娘・珠子(洗礼名・ガラシャ)。時代にも、君主にも、夫にも抗い、文字通り命懸けで信念、信仰を貫いたガラシャの生き様を、出田が力強く演出。また主役を務めるガラシャの格を引き上げたのが4人の侍女(滝野久実佳、加納徳子、波多野ユキ、山田美乃)。この侍女たちにも、家来たちにもそれぞれ、の人生を感じ取ることができた。演出・右来の手帳、そして重ねた稽古の賜物である。

STRAUSS GABRIEL WIEN & ALMA DEUTSCHER
ウィーン・シュトラウス・カペレ
＆アルマ・ドイチャー (教団楽団)
ヨハン・シュトラウス2世 生誕200周年
スペシャルコンサート
2025年7月6日(土) 19:00開演
愛知県芸術劇場 コンサートホール
全席指定 5,000円 (税込)

桐朋学園同窓生による
28th Summer Concert
第28回 サマーコンサート
2025年7月13日(日) 15:00開演
愛知県芸術劇場 コンサートホール
全席指定 5,000円 (税込)

OKAYA
チャリティーコンサート 2025
～感謝のタベ～
7/30(土) 19:00開演
愛知県芸術劇場 コンサートホール
全席指定 5,000円 (税込)

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き



初めて聴いたピアノ安藤里紗のリサイタル(4月20日・ブルー)。基本に則った演奏に感心した。明和高・京都芸大からフランスに留学。大学院を出た後もパリ近郊で活

二つの音が明快で丁寧な演奏

「ピアノ・安藤里紗」
動を続けている。
前半はベートーヴェン「ピアノソナタ第2番」と、シューベルト「ピアノソナタ第13番」。ともに若い時代の作品で、特にシューベルトは抒情性に満ち、優れた演奏だった。後半はドビュッシー「版画」。「グラナダのタレガ」。

驚いた！岡田姉弟のコントラバス

あつたクラシック

あつたクラシックフェス2025(4月12、13日・熱田文化小劇場)の初日を聴いた。興味を持ったのは、コントラバスの岡田安由と岡田りん太郎の姉弟。姉は中学2年、弟は小学6年。この年齢にまさる驚いた。体よりずっと大きな楽器を一人前に操る。姉はブルッフ「コル・ニドライ」、クレーヴィツキー「コントラバス協奏曲」ほか、弟はバッハ「ヴィオラ・ダ・ガンバ」。



「ソナタ」、ヘンデル「ソナタ・ト短調」と本格的な曲目だ。母がセントラル愛知のコントラバス高柳安佐子と聞いて納得。二人とも4歳から習っているそう。で、しっかりと音で演奏したのに感心した。ルドヴィー・ト・カンタ、鬼頭久美子、和泉麻里、高柳でボリング「チェロとジャズトリオのための組曲」も楽しめた。弦楽器の総称だった。そ



ヴァイオリン・叶澤尚子

全体に明快で、二つの音を丁寧な姿勢で奏する。今後の楽しみが大きい。今後が楽しみです。

「ヴァイオリンの叶澤尚子が演奏と話でつづる「ヴィオラ」の第1回ヴィオラ入門(5月3日・芸術劇場リハ室)を開いた。ヴィオラが誕生したバロック時代、ヴィオラは弦楽器の総称だった。その後はヴィオラでは定番の曲目、グリンカ「ヴィオラ・ソナタ」を、第1楽章だけが親しみやすいメロディーが心地よい。実績のある人の話は重みがある。ヴィオラに親しみが持てる企画だ。2回目は9月13日。

第12回浜松国際ピアノコンクール
受賞記念ガラコンサート
Gala Concert
2025
6.29(日) 13:30開演
12:45開場
愛知県芸術劇場コンサートホール
一般 3,500円 U22 1,500円 (全席指定・税込)
主催・お問合せ クラシック名古屋 052-678-5310
協力・公益財団法人浜松市文化振興財団、公益財団法人ジェス音楽文化振興会

第2位 ヨナス・アウミラー
ショパン：即興曲 第2番 嬰へ長調 Op.36
ブラームス：6つの小品 Op.118より 第2番 間奏曲 長調
リスト：アウミラー：交響詩 第3番「前奏曲」(ピアノソロ版)
※当初の予定から曲目が一部変更となりました。

第3位 小林海都
ショパン：子守歌 変ニ長調 Op.57
ショパン：バヴァード 第1番 ト短調 Op.23
ドビュッシー：前奏曲集より「カノープ」「妖精はよい踊り子」「亜麻色の髪の乙女」「ヴィーノの門」「風変わりなラヴィーン将軍」

第1位 鈴木愛美
シューマン：幻想小曲集 Op.12

アリス＝紗良・オット ピアノ・リサイタル
2025 7.1(土) 18:45開演
5席/7,500円 A席/6,000円 B席/4,500円 U25/3,000円 (全席指定・税込)
主催：クラシック名古屋 052-678-5310
チケットぴあ 0570-00-5310
チケットぴあ 0570-00-5310
チケットぴあ 0570-00-5310

ドイツの名門オーケストラ、大好評につき2年ぶりの来日！
ベルリン交響楽団
With 石井琢磨
モーツァルト：オーボエ協奏曲 変長調 K.314(2854) | オーボエ・コンチェルト「シュニャーベルガー」
シベリウス：ピアノ協奏曲 短調 Op.54 | ピアノ・リサイタル
ベートーヴェン：交響曲第7番 変長調 Op.92
2025年7月4日(土) 19:00開演
愛知県芸術劇場 コンサートホール
全席指定 5席 13,000円 | A席 10,000円

トリオ・デリツィア
Trio Delizia
～ピアニスト石川ひとみを偲んで～
Program
J.S.バッハ：G線上のアリア
リスト：愛の夢
ブラームス：ハンガリー舞曲第6番
ラヴェル：ヴァカリーズ
ビヤソラ：アディオス・ノニーノ
モリコーネ：ガブリエルのオーボエ
モロー：愛の讃歌
2025 7.5(土) ①14:00開演(13:30開場) ②18:00開演(17:30開場)
HITOMIホール
一般 3,000円 学生 1,500円 (全席自由席・税込)
主催：クラシック名古屋 052-678-5310
チケットぴあ 0570-00-5310
チケットぴあ 0570-00-5310

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ
クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F



クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(11:00～16:00 ※土日祝休)
アイ・チケット 検索
お好きな時間にお好きな席を選んでクリック♪

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが丁寧に対応いたします。ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。